

月日	テーマ・内容	参加費	担当	定員
① 8月2日(土) 時間注意!	NEW 色で子育てを楽しく! ～色育(いろいろ)でママもリフレッシュ～	1,800円 (ご夫婦参加同額、色育絵本付き)	NPO法人子育てコンビニ	6組
② 8月4日(月)	ヨガママで骨盤調整(ハイハイ前) ～ママの為にヨガで骨盤整えリラックス～	1,500円	花莉屋	8組
③ 8月7日(木)	ママ護身術エクササイズ(スピードキック編) ～だっこしたまま、強いママ～	1,500円 (防犯ホイッスル付き)	オフィス Erico-I	6組
④ 8月9日(土)	親子ヨガレッツ ～親子で楽しく動いて♪&ストレッチ♪～	1,500円 (ご夫婦参加同額)	Kupu-Kupu	6組
⑤ 8月11日(月)	産前・産後の骨盤ケア ～知って整え、お産も産後も安心～	2,000円 (さし付き)	はっぴいまむず (助産師・整体師 谷京子)	8組
⑥ 8月16日(土)	スリングなど抱っこ用品の選び方、使い方 ～赤ちゃんにやさしい抱っこを考えよう～	1,500円 (ご夫婦参加2,000円)	はっぴいまむず	6組

※時間:午前10:30～正午(※①のみ午後1時30分～3時) (先着順)

新メニュー「色育」って?

何気ない色に注目して、色育絵本を使って、補色残像の体験をしたり、カラーカードを使って、色遊びをしたり、色育ぬり絵をしたりして、「集中力」「想像力」「コミュニケーション力」を育むお話をします。色を取り入れた生活の提案をさせていただきます。



【対象】 おおむね0～3歳のお子さんを持つ親子
 及び妊娠中のお母さん
 (講座ごとに異なりますので、ご確認ください。)
 【会場・申込み・問合せ】 三鷹市市民協働センター
 ※お持ち物など詳しい内容のお問い合わせ。

☆全回、保育はありません。
 ☆お車でのご来場はご遠慮ください。
 ☆キャンセルされる場合は、必ずご連絡ください。
 ☆お菓子とお茶をご用意しています。
 ☆ご夫婦参加の場合は申し込み時に必ずお申し出ください。

花植えボランティア大募集!

協働センターでは、花壇のお世話をしてくださるボランティアさんを大募集しています。年4回の花の植え替えのお手伝いと、その間の花壇のお手入れをお願いいたします。園芸家の八原タリさんがお花の育て方のコツなども教えてください(8月23日(土)1時～八原さんの室内での指導後、作業があります)。さわやかな労働の後には、楽しいお茶会もあります(自由参加)。うれしいお土産(花芽など)がついてくるかもしれません。ちょっと気になった方は、協働センター受付までお尋ねください。

花好きの方、土いじりの好きな方、どなたでもお気軽にご参加ください。



≪協働センターからのお知らせ≫

8月18日(月)～31日(日)まで第1会議室パーティーの工事のため2階の会議室のご利用ができなくなります。ご不便をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。なお、1階の施設についてはご利用いただけますが、工事の日程によっては、使用不可になることもあります。

■町会・自治会へ ニュースレターを配付させていただきます

協働センターニュースレターは町会・自治会など地域自治組織に無料で配付させていただいております。組織単位でご連絡いただければお届けさせていただきます。町会・自治会の皆様、ぜひご検討ください。

Editor's note.

編集後記: 俄かには信じがたい、身近に起こった降雹の衝撃映像は、異常気象が他人事でないことを改めて思い知らされるものでした。地域の防災対策はもちろん必要ですが、「人任せにしない」という個々の意識も大切で、そのためには情報収集が重要なポイントです。考えると、防災に限らず、身を守るためには常にアンテナを張って生活をしなければならない今日は、ポーッと暮らしたい私のような人間には、とてもストレスの高い時代です。今朝も天気予報はしっかりチェックしてきました(雷注意報あり、洗濯物注意、雨合羽準備よし)。

◆ニュースレター配布場所◆

るま・ばぐーず、グラナダ(レストラン)、ハローワーク三鷹、NPO法人子ども生活・ゆめこうば、各コミュニティ・センター、各市政窓口、各図書館、その他市の公共施設、近隣市区の市民活動支援センター

発行日:平成26年8月1日
 発行:三鷹市市民協働センター
 (指定管理者:特定非営利活動法人みたか市民協働ネットワーク)
 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀4-17-23
 TEL 0422-46-0048 FAX 0422-46-0148
 メール:kyoudou@collabo-mitaka.jp
 ホームページ:http://www.collabo-mitaka.jp
 開館時間:9:00am-9:30pm 受付時間:9:00am-9:00pm
 休館日:火曜日(祝祭日は開館し、直後の平日を休館とします。)

平成26年
 8月

第119号

三鷹市市民協働センター

ニュースレター

三鷹市市民協働センターは市民活動を応援し、民学産公の協働によるまちづくりを推進する施設です。

開催します!

～あなたがほしい未来は、どんな未来ですか?～



トークセッション

ほしい未来は、つくりよう

もし、あなたに「ほしい未来」があるなら、その「ほしい未来」は自分の手で作りませんか? 「ほしい未来」のための一歩を踏み出したいと思っている人や「ほしい未来」のために奮闘中のたくさんの皆さんにとってアイデアとヒントがいっぱい詰まった、そして勇気と元気が出る2夜のイベントです。ぜひ、ご参加ください。

～3人の素敵なゲストをお呼びしています～

★「ほしい未来は、つくりよう」というメッセージを発信し続ける「greenz.jp」の鈴木菜央さん。
 ★子どもたちの豊かな成長を願って「放課後プログラム」を提供している「放課後NPOアフタースクール」の織畑研さん。
 ★日本と世界の子どもたちの笑顔「サンタクロース」でつなぐ活動をする「チャリティーサンタ」の清輔夏輝さん。

第一夜

9/1月

「ほしい未来」は自分の手でつくる

ゲスト:鈴木菜央さん



第二夜

9/11木

「ほしい未来」へのチャレンジ

ゲスト:織畑 研さん
 清輔夏輝さん



両日とも 19:00～21:00

参加費:各回500円(ワンドリンク付)
 定員:各回60人

◆お申し込み方法:事前に電話・ファクス・メールにてお申し込みください。

◆場所・お問合せ・お申し込み先:三鷹市市民協働センター(第1会議室)
 (三鷹市下連雀4-17-23)
 電話:0422-46-0048、ファクス:0422-46-0148
 メール:kyoudou@collabo-mitaka.jp

◆主催:NPO法人みたか市民協働ネットワーク

(1ページ)開催します トークセッション「ほしい未来はつくりよう」(2ページ)(3ページ)平成26年度三鷹市市民協働センター年間主要行事計画、開催しました「がんばる地域応援プロジェクト選考委員会」「学生企画トークサロン第6弾・空き家を活用した地域活性化の可能性」、今年も来ましたインターンシップ生(4ページ)チョコとあっぷる一む、花植えボランティア大募集、協働センターからのお知らせ



4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
4月16日～5月6日 日米の子どもたちによる 国際降交流絵画展 19日 がんばる地域応援 プロジェクト説明会	29日 NPO・市民活動のための 「事務効率がグッと上がる ファイリング講座」	 7/12選考委員会の様子	12日 がんばる地域応援 プロジェクト選考委員会		1・11日 トークセッション 「ほしい未来は、つくる」 7・14日 寺子屋カフェ 「演劇的元気のつくり方 とは」	4日 活動をPRする1分間 CMを作ろう！ (みたか市民活動・NPO フォーラム参加団体対象)	8・9日 みたか市民活動 ・NPOフォーラム	聞き書き集作成講座 (予定)		がんばる地域応援 プロジェクト発表会 シンポジウム(予定)	
学 生 企 画 ト ーク サ ロ ン											
26日 「超高齢社会における 支え合い」	25日 「来たるべき震災に備えて ～学生と地域の連携を考 える～」	28日 「空き家を活用した 地域活性化の可能性」				学生と地域の交流の 場づくり(予定)		予定あり	予定あり		
お や こ ひ ろ ば (チ ョ コ ッ と あ っ ぶ る ー む)											

「がんばる地域応援プロジェクト」選考委員会

開催日:7月12日(土)
参加人数:34人

《選考委員》

委員長:名和田彦法政大学教授
副委員長:木村忠正東京大学院教授
委員:清水生活環境部長
委員:井崎コミュニティ文化課長

開催しました 今年度は、9団体より申請があり、事業内容の説明、質疑応答が行われました。公益性・独創性などの観点から公平に審査し、助成金交付が決定しました。

団体名	助成対象事業の名称	助成対象事業の内容等
井の頭一丁目 町会	みんなで作ろう! 安全安心な地域	◆防災のワーキングチームを結成し、地域の事情にあった防災のあり方を考え(チームには様々な立場の会員が入ることで、世代を超えた交流を活発にする)、災害や犯罪に強い地域を作る。◆当町会エリアの三鷹台児童公園が災害時在宅生活支援施設に整備されることを契機に、防災訓練、用具の使い方講座等を実践する。◆同時に、昨年度実施した「空き家見守り事業」も継続する。
上連雀友和会	健康体操で老後も 健やかに過ごそう	◆健康体操を、専門の講師を招き、原則月2回、自治会が管理する地区公会堂で実施する。◆男女問わず、シニアの方(概ね65歳以上)を中心に全町会会員を対象として、無理のない範囲で健康増進のために定期的に健康体操を実施する。これにより、参加者の健康の維持・増進はもちろん、仲間同士の交流により密接な関係を構築することができる。
上連雀一丁目 アパート親和会	憩いカフェを拠点とした 住民の防災意識強化	◆自治会で所有する集会所を「憩いカフェ」として開設し、これを拠点として住民相互の交流を図り、顔の見える関係づくりを目的とする。この「憩いカフェ」によって密接となった住民関係を生かして、災害時に迅速な対応が行えるようにする。◆週2回「憩いカフェ」を開放し、各人の防災意識を強化するために三鷹市防災課、消防署などと連携して講座を実施する。
新川五丁目 2号棟自治会	花と歌、楽しく集う コミュニティ	◆敷地内の集会所を拠点として、集合住宅1階部分にある三鷹市立新川保育園の年長組園児(25名)と70歳以上独居者とが、協働で花を植え、日々鑑賞管理を年2回実施することにより、独居者に園児との交流による生きがいを感じてもらうとともに、園児たちに思いやりの心が宿ることを目的とする。また、当日参加できなかった者へ主催者が作品を届けることで、健康状態の確認を行う。◆敬老クラブ員によるカラオケクラブを週1回実施し、敬老者同士の関係性向上を図ることで、地域へ出てい

団体名	助成対象事業の名称	助成対象事業の内容等
親生会	カフェサロン2期目の 挑戦 (新メニューと 3世代交流祭)	◆昨年開設したカフェサロンにおいて、さらなる参加者への動機づけ、交流の輪の拡充により、地域住民のつながりの強化を図る。◆外部指導者と連携して、身体・心の健康「ゆめ体操」、心の健康「江戸小唄の会」を定期的に行う。また、7年前実施した際に好評であった「3世代交流祭」を開催する。
下連雀第一 町会	町会加入促進及び活動 紹介チラシ作成事業	◆町会のチラシを作成し、当該地域全域に配布することで、未加入者の加入促進、加入者の町会への関心向上を目指す。なお、作成にあたり、学生と連携して実施することで、学生には町会を知ってもらい地域とのつながりが得られ、町会は学生から若い力をもらうことで双方にメリットがある。◆当事業をきっかけに「地域と学生とのつながり」を深め、今後実施する他事業での協力関係を構築する。
上二町会	上二町会家族ぐるみ 大運動会	◆150名近い会員が運動会に参加することで、コミュニティの向上と健康増進につながる。また、たくさんの方が集まる本運動会の昼休憩時間を利用して、防犯、防災訓練を行うことで、災害に強いまちづくりを目指す。◆運動会の翌日から、町会内では今まで交流のなかった人とも挨拶を交わすようになるという効果が期待できる。また、災害時には町会内での会長を初めとする統率が図れ、共助の取り組みにつながる。
ラトリエ吉祥寺 管理組合	ふれあい夏祭り	◆「地域とのふれあい」をメインテーマに掲げ、牟礼コミュニティ・センターで活動する子どもダンスサークルや市立第六中学校吹奏楽部を招き、マンション敷地内の中庭を活用した夏祭りを開催する。◆今年度も隣接する介護マンションの住民を招待するなど、マンション住民だけでなく、他団体の方々との地域交流の場を創出し、閉鎖的になりがちな大型マンションの地域社会への新しい関わり方として、今後の地域活性化につなげる。
下連雀若葉会	「ふれあい地域フェスタ (若葉会:BBQ大会& 子ども理科教室)」	◆バーベキュー大会の場を活用して、町会内の相互交流のさらなる活性化を図る。町会外活動(趣味の会)の発表・展示、子ども向けの理科教室の開催等により、地域の世代間(小中学生と高齢者など)交流の場及び理科学習の場を構築する。◆地域の活動を通じて、子ども達が自然や科学技術に関する関心を高める機会を提供するとともに、地域内の相互交流により、技術者や科学者をバックボーンに持つ高齢者から子ども達へ知識が共有される「地域における知の継承」を目的とする。

開催しました

学生企画トークサロン『飛び出そう地域へ!～学生が創る“みたか”の未来～』
「空き家を活用した地域活性化の可能性」

開催日:6月28日(土)
参加人数:28人



現在増加しつつある空き家問題は、良好な住環境を保つうえでも、また防災・防犯などの観点からも対策が必要とされています。今後ますます増加することが予想される空き家について、三鷹市の現状をふまえて、可能な対策や有効な活用方法について話し合いました。ゲストスピーカーのプレゼンあとの参加者によるディスカッションでは、社会福祉との連携やイメージビデオで宣伝など、さまざまなアイデアや意見が出ました。これからの取り組みや問題点などについても、話し合われました。

～ゲストスピーカー～

- ・柳田好史さん(としまNPO推進協議会代表) 豊島区居住支援協議会の取り組み及び地域サロンの運営について
- ・饗庭 伸さん(首都大学東京准教授) 国立市「やほろじ」再生の取り組みについて
- ・宇山正幸 三鷹市生活環境部調整担当部長 中村修 三鷹市総務部安全安心課長 三鷹市空き家等調査報告書について
- ・瀬尾太一さん(国際基督教大学3年) 学生が考える空き家対策

今年も頼もしいインターンシップ生が、センターにやってきました。すでにあちらこちらで活躍中の彼の自己紹介です。

今年も来ました!インターンシップ生

三鷹市市民協働センターでインターンをしている国際基督教大学3年生の瀬尾太一です。普段は学生団体「ボラベル」の代表として「大学と地域をつなげる」活動をしています。この度は6月26日から9月1日までの間に30日間、協働センターを中心とした三鷹市のさまざまな場所で活動しています。中原地区での雹・大雨による被害の支援から始まり、農業公園10周年記念事業やがんばる地域応援プロジェクトなどのイベントのお手伝い、ななっこまつりやおやじの部屋・みたか組による絵本の読み聞かせなどへのボランティアとして参加、市内NPOへのヒアリング、さらに日常業務や各種会議への出席などとても貴重な体験をさせていただいております。これまで、ひとつの団体として外からかかわってきた協働センターですが、中で活動させていただき三鷹市での市民活動における新たな気づきや発見が数多くあり、また協働センターの「人と人を結びつける」機能のよさを再認識します。協働センターにいる間、少しでもお役に立てるよう精進しますので、よろしくお願ひします。



学生企画トークサロンで、スピーチをする瀬尾太一さん